

令和5年第1回
久御山町教育委員会定例会
議事録

令和5年 第1回久御山町教育委員会定例会 議事録

1. 招集年月日 令和5年1月31日
2. 招集の場所 久御山町役場会議室23
3. 開 会 令和5年1月31日 午前10時開会 宣告
4. 出席委員 内 田 智 子
寺 井 恵太郎
豊 田 美 幸
阿 部 拓 児
田 口 賀 彦
5. 職務のため出席した者の職氏名
教 育 次 長 田 井 稔
学校教育課長 星 野 佳 史
生涯学習応援課長 森 本 智 代
書 記 山 村 彩 子
6. 付議案件
議案第1号 久御山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

7. 会議の経過

午前10時 開会

○内田教育長 それでは、ただいまから令和5年第1回久御山町教育委員会定例会を開催いたします。本日の議事録署名人は、寺井委員であります。よろしくお願いいたします。前々回、令和4年10月18日開催の第8回定例会議事録及び、前回、令和4年11月28日開催の第9回定例会議事録につきましては、先日配付してご覧頂いたことと存じます。よろしければご承認いただきたいと存じます。よろしゅうございますか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 第8回及び第9回定例会の議事録については、承認されました。次に報告についてでございます。書面での議決とさせていただきます、議案第19号「令和4年度久御山町一般会計補正予算（第6号）について」は、議案に係る意見等なく、全員賛成により原案のとおり可決させていただきました。次に、園小中学校の子ども達のコロナ感染状況ですが、依然、感染者が報告されておりますが、大きな広がりは見られません。一方、佐山小学校においてインフルエンザ感染症による学級閉鎖が2件ありました。その後の拡大は見られません。12月2日、佐山小学校150周年記念式典が感染症対策のため参加者を絞られ開催されました。子ども達は非常に明るい表情でお祝いをしており、特に6年生のパフォーマンスが、未来に繋がるという明るい希望を持たせていただいて、とても良い式典でした。12月14日には教育委員さんとPTA代表の懇談会に御参加いただきありがとうございました。非常に活発なご意見をいただき、また参考にしていきたいと思います。12月23日には久御山町交通対策協議会主催の交通安全ポスターコンクール表彰式が行われ参加しました。子ども達が夏休みの間に書いた作品がポ

スターやティッシュになり、うれしい表情で受賞をしておりました。1月6日旧山田家保存活用検討委員会が開催され、委員の皆様にご依頼いたしました。今後、専門家の皆様、東一口ふる里を学ぶ会の皆様により旧山田家住宅保存活用について検討を重ねて参ります。また、1月15日には特別公開として、大根炊きをいただくイベントが開催されました。非常にたくさんの方で賑わうことができました。1月9日、二十歳の集いにご臨席いただきありがとうございました。当日、127名の参加がありましたことご報告いたします。1月21日青少年の主張発表会が行われ、小、中、高校生12名が自らの思いを堂々と主張されました。コロナ禍ではありましたが、参加者の多くの方々が、子ども達の意見に耳を傾けられ、その主張内容に大変力をもらったという感想をいただきました。1月22日、文化財保護審議会が開催されました。その際、文化財を火災から守る消防の取組を見学いたしました。また、1月29日に3年ぶりにくみやまマラソンが開催され、790名の参加の下、無事終わることができました。最後に、1月17日、佐山小学校矢野奈穂子教諭が、文部科学大臣優秀教員表彰を受賞されました。以上報告とさせていただきます。何かご質問ありますか。

○豊田委員 矢野先生は、どのような功績で表彰を受けられたのでしょうか。

○内田教育長 もちろん学級経営力ということもあるんですけども、長年特別支援学級の担任をされており、子ども達の特性にあった指導を研究され、研鑽をつまれているということで表彰となりました。

○豊田委員 ありがとうございます。

○内田教育長 それでは、議事に移ります。議案第1号、久御山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。

○森本生涯学習応援課長 久御山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、説明させていただきます。今回提案理由といたしまして、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、安全計画の策定等の必要な規定を整備するため、本条例を改正するものであります。児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が、令和4年11月30日に公布され、令和5年4月1日から施行されるために、今回改正いたします。具体的に何を改正するのかといいますと、安全計画の策定等の義務化、業務継続計画の策定等の努力義務化、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置の明確化、以上の三点の追加を明記することとされています。今現在も指導員に対しましては指導の手引きであったり、保護者の方に関しては、しおりという形で、警報が出たときにどうするか、緊急の連絡先をどうするべきかということ明記はしているんですけども、それを今回計画という形で来年度につくっていく予定としております。以上です。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 それでは議案第1号を採決します。ご意義はございませんか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 ありがとうございます。議案第1号については可決されました。本日の議案は以上でございます。よって、本日の定例会を閉会いたします。

午前 10 時 10 分 終了

○報告事項

- (1) 一般質問（12月会議）について
- (2) 令和4年度いじめ調査実施結果及び生徒指導の状況について
- (3) 令和4年度卒業（園）式及び令和5年度入学（園）式の日程について
- (4) 令和5年度こども園入園募集結果について
- (5) 教育に関する事務の点検及び評価について
- (6) 旧山田家住宅保存活用計画検討委員会について

(1) 代表質問・一般質問（12月会議）について

星野学校教育課長

- ・12月12日・13日の2日間
- ・13名中7名の議員が登壇　うち教育委員会関係は5名
- ・芦田議員…大阪・関西万博について
ノロウイルス対策について
- ・篠田議員…ヤングケアラーについて
- ・岩田議員…教育のDXについて
発達性読み書き障害（ディスレクシア）について
- ・松尾議員…子育て環境について
- ・巽議員…まちづくりについて

(2) 令和4年度いじめ調査実施結果及び生徒指導の状況について

八木指導主事

○いじめ調査について

- ・重大事態はない。京都府全体でも重大事態はない。
- ・認知件数は、特に小学校について府平均より若干多めに出ている。
- ・認知件数は、いじめ調査においてどれだけ子どもの声を丁寧に拾い上げるかというところにもよってくる。
- ・2回目調査の内訳で一番多いのが、「冷やかし、からかい、悪口、嫌なこと」である。この項目については、府全体でも多くあがっている。
- ・今後3月末にかけて聞き取り調査をしていく中で指導を進めていく。
- ・寺井委員
学校により調査に対する姿勢が違うのではないかと。各校で数字に差がありすぎると思う。調査のレベルのすりあわせはしているのか。
- ・八木指導主事
ご指摘の点については、かねてからの課題となっている。京都府が全国の中でも多めであり、その京都府の中でも久御山町は多めである傾向がある。もう少し網目を緩く調査すればいいのかということ、その中に重大事態に繋がるようなものがあってはいけないので、難しい。慎重にしつつ、いじめ調査の精度を上げるために、課題としてい

く。

・内田教育長

件数の差は校区ごとの雰囲気の違いである可能性もあるので、子どもがあげてくれた声を大切にしていかなければならない。

○生徒指導の状況について

- ・ 小学校の不登校のうち、長期化しているのは約半数程度である。
 - ・ 不登校のきっかけは、府、全国と同じような傾向が出ている。
 - ・ 家庭的な問題やその他様々な要因が相互に関係しあって、子ども本人に様々な問題が出てきており、学校だけでは対応できないケースも多い。福祉などの関係機関との連携を中心に解決に導くべきケースが多い。
 - ・ 中学校では、数名が学校のなかでやんちゃなことをしているという状況がある。しかし、反社会的と言われるような酒・たばこではなく、教員にかまって欲しい、注目を浴びたいという様子がうかがえる。教師の指導に全く従わないということはない。
 - ・ ネット関係のトラブルの増加というのが、近年の特徴である。SNS などのリスクについては、学校で継続的に授業を行っているが、なかなか理解が定着しない。保護者も含め、地域全体で啓発していくべきである。
 - ・ 中学校の不登校の人数は、昨年と大きな違いはないが、引き続いて長期欠席者が多い。
- ・ 豊田委員

学校に行かないことで、様々な繋がりが断ち切られないようにしていかなければならない。細い糸でも繋がりながら成長してもらえたら、どこかで自分の居場所を見つけた時に、自分からコミュニケーションがとれるようになるのではないかと。

・内田教育長

教育相談室やほっとルームに通っているなど、なんらかの形で繋がっていて、中学校では放課後に学校に来て、話したり、勉強したりということを行っている。ずっとこのままでいいということではなく、少しずつ学校にいけるようにステップを踏みながら、子ども達と向き合っている。

(3) 令和4年度卒業(園)式及び令和5年度入学(園)式の日程について

星野学校教育課長

卒業(園)式

- ・ こども園：令和5年3月17日(金) 午前10時開式
- ・ 小学校：令和5年3月20日(月) 午前9時30分開式
- ・ 中学校：令和5年3月14日(火) 午前9時30分開式

入学(園)式

- ・ こども園：令和5年4月4日(火) 午前10時開式
- ・ 小学校：令和5年4月7日(金) 午前9時30分開式

- ・中学校：令和5年4月10日（月）午前9時30分開式

(4) 令和4年度こども園入園募集結果について

星野学校教育課長

令和5年1月18日時点

- ・みまきこども園：83人
- ・さやまこども園：198人
- ・とうずみこども園：130人　合計411人

(5) 教育に関する事務の点検及び評価について

梶原学校教育課長補佐

- ・令和3年度の教育委員会における事務の点検及び評価を行い、外部委員による指導及び助言をいただいた。
- ・総合計画に基づき10の施策ごとに施策評価シートを作成し評価・点検を行った。
- ・行政評価委員から総評として指導及び助言をいただいた。
 - ・学校教育、社会教育ともに昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症による各事業への影響がみられるなか、数値・結果にとらわれることなく事業の取組内容を評価いただいた。
 - ・学校教育の分野においては、「久御山学園」について、幼少期からの一貫した保育教育を実践でき子どもたちの豊かな成長に結びつく効果が期待できると評価をいただいた。
 - ・学力の充実・向上については、新型コロナウイルス感染症により制限されてきた学校生活の影響が、学習に向かう姿勢にも出てくることが懸念される。教師が学習指導に集中できる環境を整備することが重要、との助言をいただいた。
 - ・教育相談について、多様化する相談に対応すべく相談員の増加やサポート窓口の設置がおこなわれるなど、子どもや保護者の悩みに応じた取り組みが行われており、より一層の充実が望まれる、とご意見をいただいた。
 - ・社会教育の分野では、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けているが、限られた条件のなかで各種事業を工夫を凝らして実施できていることを評価いただいた。
 - ・生涯学習の推進では、社会見学など知的好奇心を満たす取り組みのほか、学び考える機会を提供することも検討されるよう提案をいただいた。
 - ・最後に、学校教育、社会教育ともに、事業内容に対して人材・人手不足が顕著に感じられ、各事業を精査しスクラップアンドビルドを進めるとともに、必要な事業に対しては、予算配置と計画的な人員確保・育成を望む、と助言いただいた。
- ・報告書は、ホームページにおいて公表されている。

(6) 旧山田家住宅保存活用計画検討委員会について

森本生涯学習応援課長

- ・第1回委員会を、令和5年1月6日（金）、東一口公会堂で開催した。
- ・委員会は学識経験者や東一口のふる里を学ぶ会代表など10名で構成されている。
- ・第1回委員会では、現在実施している主屋構造特性検討業務や今後予定している調査についての説明、今後の旧山田家住宅の活用についての意見交換を行った。
- ・委員からは、「地元住民の日常生活に支障をきたさないような地に足のついた計画を策定したい」「安全性の確保のための詳細なスケジュールの作成が必要である」「旧山田家住宅の伝承の掘り起こしが必要と考える」などの意見がでて、活発に意見交換が行われた。
- ・次年度は、年度内に3回程度委員会を開催し、旧山田家住宅の保存活用に向けた方策等について検討を重ねていく予定である。